

ALL NIPPON DIVERSITY NETWORK 全国ダイバーシティネットワークの活動

文部科学省科学技術人材育成費補助事業（2018年度～2023年度）
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワーク中核機関（群））



○-Progressive Initiatives of
Empowering Network for Diversity

全国ダイバーシティネットワーク 実施責任者
大阪大学理事・副学長 工藤 真由美

2019年11月17日（日）日本学術会議 学術フォーラム
学術の未来とジェンダー平等～大学・学協会の男女共同参画推進を目指して～

全国ダイバーシティネットワーク

女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取組む
諸機関をつなぎ、国内外の取組動向の調査やその経験、
知見の全国的な普及・展開等を図る。

2018年11月26日 全国ダイバーシティネットワーク組織 の設立

フェイス・トゥ・フェイスで事例や課題を共有。
●全国を8ブロックに分け、ブロックごとに幹事大学を置き、各ブロックにおける機関の連携強化、情報の共有及び取組の活性化を図る。
●幹事大学による「全国ダイバーシティネットワーク組織幹事会」を設置し、情報と課題の共有を図る。

2019年3月29日 全国ダイバーシティネットワークプラットフォーム の構築

ウェブサイト <https://www.opened.network/> を開設し、参考となる事例等の情報を発信。
●事業の概要、各ブロックの活動、参考事例、イベント等情報を収集・発信。
●大学・研究機関・企業の実態調査の実施。
●オープンで多様なオンライン上のコミュニティを形成。

1 PENeD 全国ダイバーシティネットワークの活動

全国ダイバーシティネットワーク組織①

参画機関数
142
(2019.10.29現在)

全国規模のダイバーシティネットワーク

地域ブロック・幹事大学一覧
(2019年度)

地域ブロック	参画機関数	幹事大学
北海道ブロック	6	北海道大学、室蘭工業大学
東北ブロック	7	東北大学、山形大学、岩手大学
関東・甲信越ブロック	12	東京農工大学、東京大学、お茶の水女子大学、筑波大学、新潟大学、千葉大学
東海・北陸ブロック	19	名古屋大学、金沢大学
近畿ブロック	32	大阪大学、京都大学、神戸大学、立命館大学
中国・四国ブロック	20	岡山大学、広島大学、徳島大学、愛媛大学
九州・沖縄ブロック	12	九州大学、長崎大学、宮崎大学

2 PENeD 全国ダイバーシティネットワークの活動

全国ダイバーシティネットワーク組織②

国立大学のみならず、
公立大学、私立大学等もネットワークに参画

機関数
142

国立大学 46.4%
公立大学 13.4%
私立大学 26.1%
研究機関、高専、企業、その他 14.1%

3 PENeD 全国ダイバーシティネットワークの活動

全国ダイバーシティネットワーク組織地域ブロック活動①

各ブロック会議の開催
ブロックシンポジウム、セミナーの開催

ダイバーシティ研究環境実現に向けた
課題や事例の共有

全国ダイバーシティネットワーク組織幹事会

全国シンポジウム等の開催により、8ブロックの活動の連携推進
ダイバーシティ研究環境実現に向けた提案・意見交換を実施

4 PENeD 全国ダイバーシティネットワークの活動

全国ダイバーシティネットワーク組織幹事会の設置・開催

各地域ブロックの行動目標や取組の共有、意見交換、情報提供の依頼、
有用な情報共有のあり方の検討等

2018年度 第1回幹事会開催 2019年2月7日（木） 於：大阪大学

●幹事大学（23大学）の委員及び担当者69名、
文部科学省3名 計72名出席
●活動報告、予算執行状況、各ブロックの活動報告、
今後の活動についての質疑応答と意見交換

2019年度 臨時幹事会開催 2019年6月3日（月） 於：大阪大学

●幹事大学（24大学）の委員及び担当者48名、
文部科学省4名、科学技術振興機構3名 計55名出席
●今年度の取組、事業の実施体制、予算の基本方針、ウェブサイトの構成・
運用、次年度の取組についての質疑応答と意見交換

2019年度 第2回幹事会開催 2019年12月6日（金） 於：一橋講堂

5 PENeD 全国ダイバーシティネットワークの活動

全国ダイバーシティネットワークプラットフォームの構築・運用

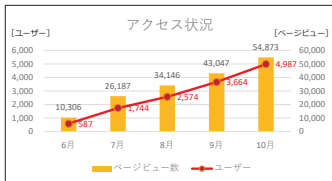


ウェブサイトを開設し、参考となる事例等の情報を発信。

<https://www.opened.network/>

▶ 参画機関のうち、43機関が各機関のウェブサイトにリンクを掲載 ※2019.11.1時点

リンク掲載のため、バーナーデータを提供



▶ 文科省のメルマガ等での配信による広報

- ① 男女共同参画局メールマガジン【内閣府】
<http://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/index.html>
- ② マナビィ・メールマガジン【文部科学省】
<http://www.mext.go.jp/magazine/backnumber/1263046.htm>
- ③ 初中教育ニュース【文部科学省】
<http://www.mext.go.jp/magazine/backnumber/symel.htm>

6



全国ダイバーシティネットワークの活動

日本学術会議と連携した活動

日本学術会議と連携して実施（2019年2～3月）

「全国大学・研究機関における男女共同参画ダイバーシティの推進状況に関するアンケート調査」

主催：日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会
全国ダイバーシティネットワーク 幹事機関（大阪大学）

国・公・私立の枠を超え、分野を超えた全国およそ800に及ぶ大学・研究機関に対しての初めての大規模調査

大学・機関種別	送付数	回答数	回答率
国立大学	87	72	83%
公立大学	91	44	48%
私立大学	609	175	29%
その他研究機関	40	6	15%
合計	827	297	36%

アンケート結果を分析中

「研究者対象のアンケート」実施予定

ウェブサイトにアンケート回答フォームのリンクを掲載

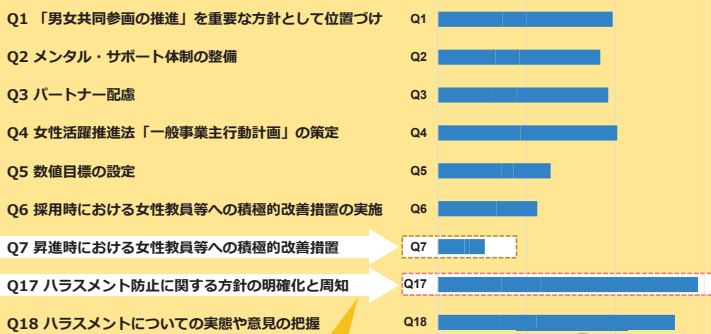
7



全国ダイバーシティネットワークの活動

機関対象のアンケート結果①

[機関数] 0 100 200 300



Q17はすべての大学で実施、Q7に取り組んでいる大学は少ない



8



全国ダイバーシティネットワークの活動

日本IBMと連携した企業対象のアンケート

アンケートの特徴

- 業種・企業横断で実施
- 男女その他属性の違いに基づく職場経験やキャリア開発の違い、企業におけるダイバーシティの推進を支える職場環境やリーダーシップの効果、無意識の偏見の発現状況などを調査

アンケート実施の意義

- 日本の企業（日系、外資含む）におけるダイバーシティ推進の環境や意識を本質的に捉えるもので、日本におけるダイバーシティ研究に資する
- 参加企業にとっては、自社におけるダイバーシティ推進の環境や意識を客観的に捉え、現状の課題と改善の方向性を検討する機会となる
- 大学・研究機関が多数参画する「全国ダイバーシティネットワーク事業」において実施することで、産学連携での日本のダイバーシティ推進につながる

実施時期

- 9月下旬から順次実施中、最終的な調査期間は11月中
- 年内に分析を開始、今年度内に「OPeNeD」上で結果公表

参加企業・参加規模

- 機械、通信、エネルギー、システム等様々な業界から6社2000名超予定

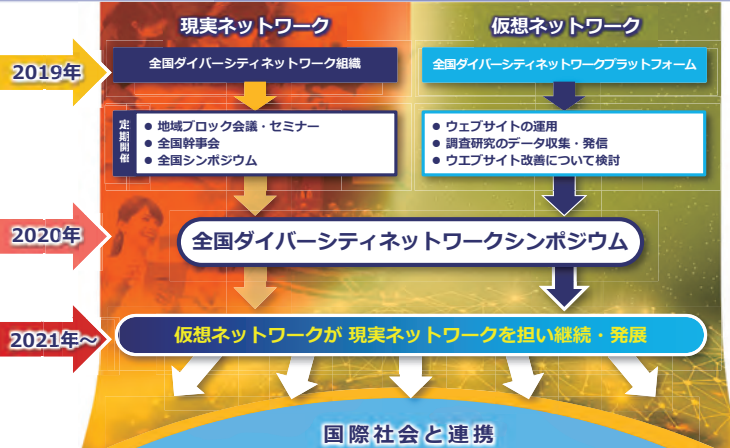


9



全国ダイバーシティネットワークの活動

今後の展開に向けて



10



全国ダイバーシティネットワークの活動

進化するウェブサイト

ターゲットを拡大し、相互交流を促進するウェブへと段階的に改修

ターゲットユーザー

- 高等教育機関・研究機関の教職員・研究者・管理職等
- 企業の人事・D&I関係者等
- 大学生、女子中高生とその保護者・教諭等

サイトコンセプト位置づけ

「女性研究者の活躍推進に関するWikipedia」として、ニーズに即した情報発信と相互交流を促進

- 全国の大学・研究機関にとって情報の共有と進化する学びの場
- 女性研究者を取り巻く研究環境の可視化

サイトの利用方法と目的

参画機関にとって：

- 課題に直面した際、サイト内検索などにより、解決策への糸口を見出す
- 活動報告において、課題への取組、取組の際のシレンマなど議論された内容も有効な情報として掲載

企業にとって：

- アンケート結果報告に対し、自社の状況との比較
- アンケート結果に対する問い合わせや次年度調査への参加表明
- リカレント教育などの潜在的提携先のサーチ

11



全国ダイバーシティネットワークの活動